



チャイルドハウスこども園

急に暑さが落ち着き、朝夕が涼しくなりました。過ごしやすくなってきましたが、10月は気温差が大きく衣服の調節が体調管理の大きなポイントになります。脱ぎ着しやすい上着などで調整し、半そでと長そでを上手に使い分けていきましょう。

3歳児「トイレの使い方 第2弾」



9月に、トイレでの約束を知った、とんぼ組・ぱった組のお友達！今月は、ステップアップして、① 男児トイレの使い方 ② 洋式便器の使い方 ③ トイレトペーパーの使い方をお話ししました！写真は、③の様子です。



薄いペラペラしたトイレトペーパーをたたむのに苦戦していた子もいましたが、お尻の拭く方向は、みんながしっかり覚えていて、「きゅっ！」と拭くことが出来ていましたよ♡



健康状況

朝夕の気温差や夏の疲れからか、発熱でお休みするお子さんもいましたが、今の所、大きな感染症の流行は見られません。

登園出来ていても、鼻水や咳が続くお子さんがおられます。早めに受診して、悪化しないようにしていきましょう。



保健行事

身体計測	
19日(木)	5歳児
20日(金)	4歳児
23日(月)	0~2歳児
24日(火)	3歳児

10月10日は「目の愛護デー」



- 乳幼児期は、『見る機能』が発達する、大切な時期です。
- 子どもの目の特徴 → 毎日発達する。(6~8歳頃にほぼ完成)

近年、小さい子がスマホを触っている光景が多くなってきています。メディアを上手に活用しながら、自然の中で遊ぶ機会も十分に取っていただけるといいですね。外の景色を沢山見せる事で、子どもの視力を育てていきましょう。



！ こんな見方は、危険信号

斜視や弱視の可能性が考えられます。子どもは視力が弱いことを自覚できないため、普段から、症状がないか、気にかけてみるようにしましょう。



診断・治療には、お父さん・お母さんの協力が不可欠です！

POINT①「ときどき片方の目がずれるようだ」「物をみようとする目が揺れる」など、できるだけ具体的に、詳しく伝えましょう。

POINT②小さい頃からの写真やビデオなど異常が映ったものがあったら、受診に持っていきましょう。

(診察中には症状が出ないことが多い為)

治療が開始になったら・・・

眼鏡をかけるよう指示されることがあります。遠視や乱視を矯正して弱視を治療するための眼鏡で、かけなければ視力が上がりません。指示通り、常に身に付けるようにしましょう。

インフルエンザの 予防接種が始まりました

2回の接種が必要

小さな子どもは免疫がつきにくいので、2回の接種が必要です。効果を十分に上げるためには、1回目の接種と2回目の接種の間は4週間あけるとよいとされています。

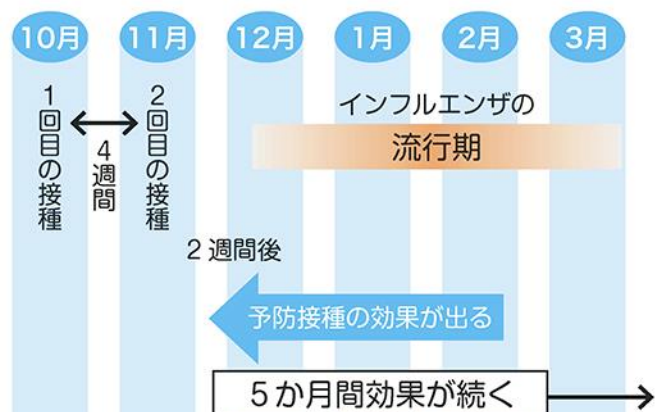
効果が十分に出るのは2回目接種から 約2週間

乳幼児は有効な免疫ができるのに2回目接種から2週間かかります。

効果は約5か月間持続する

インフルエンザの予防接種の効果は、約5か月。10月から接種すれば、流行の始まりからしっかりカバーできます。

10月から、インフルエンザの予防接種が始まります。予防接種の特性を知って、早めに接種を受けましょう。



➡ 10月中に1回目の接種を受けましょう